

# インターネット EDI 対応へシステムを刷新、 約 80 社の取引先がある EDI を 22 か月で開発から切り替えまで完了



## キヤノンマーケティングジャパン株式会社

キヤノングループの販社として、ICT と人の力を活用してプロフェッショナルなアプローチでお客様のさまざまな課題に対処しているキヤノンマーケティングジャパン(以下、キヤノンMJ)。同社は ISDN 回線終了に伴う EDI 製品のリプレイスに当たって、キヤノン IT ソリューションズ(以下、キヤノンITS)の EDI-Master シリーズを採用。キヤノンITS の技術サポートもあり、80 社に及ぶ取引先との EDI 受発注システムの開発から切り替えまで、22 か月という短期間で完了されました。

お客様の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISDN 回線終了に伴い、EDI 製品をリプレイスしたい</li> </ul>
導入の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 22 か月という短期間で開発から切り替えまで完了</li> <li>• 切り替え失敗時のリスクを最低限に抑えた計画の策定</li> <li>• 豊富なノウハウと実績で、スムーズな開発やテストをサポート</li> </ul>
導入製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>• EDI-Master シリーズ</li> </ul>
キヤノン IT ソリューションズを選じた理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 要望を的確にくみ取り提案に反映する課題解決力</li> <li>• EDI 構築実績の豊富さ</li> </ul>

### 背景・課題

#### 機能分散とブラックボックス化を 回線切り替え対応時に解消したい

キヤノンMJは、キヤノン製品の販社として家電量販店や物流業者などの取引先とやりとりをしており、受発注にはEDIを利用してしています。しかし、以前のEDIにはいくつか課題があったと言います。

「従来のEDIに利用していた製品はメールEDI機能がなく、その部分はスクラッチ開発で対応しており、複数のプラットフォームが併存している状態でした。また、変換などEDI製品では対応できな

い機能部分は切り出して基幹システムで対応しており、系統的にあまり好ましい状態ではありませんでした。さらに、導入して年月が経過していく中で改修を行ってきたためブラックボックス化が進行していました」とキヤノンMJの市橋氏は当時のEDIの課題について振り返ります。

そのような状況下で、EDIで利用してきたISDN回線が2024年には終了となることが決まり、それまでにインターネット回線に切り替える必要が生じました。そのためEDIをリプレイスして、インターネット回線に対応すると同時に従来の課題を解決することにしました。

“自分たちでは対処が困難なことについてキヤノンITSに問合せをすると、いついつまでにと回答期限を明確にし、その期限までに回答をもらえたので、安心して開発に取り組むことができました”

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 市橋 恭 氏

### 社名

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

### 所在地

東京都港区港南二丁目16番6号

### Webサイト

<https://canon.jp/>

### 事業内容

1968年設立。日本市場におけるキヤノンブランド製品の直販、卸売や修理などのサポートなどを行う。コンシューマ ビジネスユニット、エンタープライズ ビジネスユニット、エリア ビジネスユニット、プロフェッショナル ビジネスユニットの4つの事業部門を展開し、キヤノン製品の販売・サポートに加え、ITソリューションビジネスの拡大や産業・医療分野への進出、海外でのビジネス展開にも力を入れている。



キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
IT本部 ITシステム企画第二部  
ITシステム企画第二課  
市橋 恭 氏



キヤノンITソリューションズ株式会社  
キヤノンMJグループIT事業部  
第四システム部  
喜安 洋貴 氏

解決策

切り替え失敗時の影響を  
最小限に抑える提案を評価

製品の選定にあたっては次の3つの条件で比較検討されました。①キャノンMJでは、受注だけでも品目単位の明細で年間約1000万件規模あり、その規模に対応できるEDI製品での保守実績があること。②インターネットEDIの主要なプロトコルを有し、かつ、フォーマット変換に際して基幹システムなどを使う必要がなく、製品内で完結して取り込むことができること。③将来の拡張性。これはリスクを抑えるため、スモールスタートして効果を確認して利用範囲を広げていく予定であったからです。

キャノンMJは、最終的にEDI-Master含む2製品についてRFPを出してもらおう、ベンダーに依頼。RFPではEDIを止めることなく新EDIに移行することに重点を置いて提案することを求めています。それらを踏まえて項目別に点数化し、最終的に点数の高かったキャノンITSのEDI-Masterを採用しました。

「キャノンITSは当社の要望を正確に理解しており、その提案は切り替えが失敗した場合の業務に対するインパクトも考慮して原状復帰が簡単で

きるような内容となっていました」と市橋氏は、EDI-Master採用の理由を語ります。導入実績が豊富であったこと、5年間利用した場合のトータルコストも安いことも点数が高かったとのことでしたが、グループ会社であることは点数化されていません。「キャノンMJはグループ会社だから優遇するといったことはありません。目的に最も適した製品、ソリューションを提供してくれるベンダーを選ぶようにしています」(市橋氏)。

成果

短期間で構築・切り替えするため  
開発と同時にスキルトランスファー

構築からテスト、切り替え完了まで16カ月というタイトなスケジュールだったため、共通となるEDI-Masterの土台部分は4カ月で構築し、その後は取引先との個別部分を逐次開発されました。土台部分の構築と並行して、キャノンITSから1回半日のスキルトランスファーを5回受けるとともに、変換定義含めた複数のサンプルをキャノンITSに作成・提供してもらおうことで時短を図っています。

短い期間でスムーズに進められた背景には、キャノンITSのサポートがありました。

「テスト環境から本番環境に移行する際に動作し

ないというトラブルが発生し、原因が分からず、EDI技術担当者に問い合わせしました。夜には回答するとのことで、実際にその日の夜に回答があり、設定ミスであることが分かり、すぐに対処できました」と、EDI製品のサポートについて喜安氏は評価しています。

キャノンITSのサポート窓口に問合せをした場合でも、遅くても翌日には的確な回答をもらうことができたと言います。取引先との調整の関係で今回のEDIの切り替え作業は、結果的に半年延びましたが、それでも22カ月という短期間で切り替えることができたのは、キャノンITSの技術サポートのお陰だと市橋氏は感謝の言葉を述べられました。

今後の展望

EDIを利用する取引先の拡大を

現在、EDI-Masterを使ってEDI取引に得意先の追加を行っており、今後も増やして行く予定です。「キャノンITSには、より開発しやすくなるような機能の追加をお願いしたいと思います。また、サポート窓口はこれまで通り、迅速な対応を続けてもらえると助かります」と市橋氏はキャノンITSに対する要望を述べ、締めくくりました。

“ 以前の製品とEDI-Masterとでは変換処理部分が異なっており、どのように対処すべきか悩みましたが、EDI技術担当者の的確なアドバイスのお陰で乗り切ることができました ”

構築・運用担当 キャノンITソリューションズ株式会社 喜安 洋貴 氏



キャノンITソリューションズ株式会社  
ビジネスソリューション統括本部  
ビジネスソリューション営業本部  
営業部 東日本営業第一課  
課長

浅見 正

キャノンITソリューションズ担当者からの声

キャノンITSのEDI製品「EDI-Masterシリーズ」は、業種業態を問わず、数多くのお客様にご利用いただいています。今回、キャノンマーケティングジャパン株式会社に「EDI-Masterシリーズ」を採用いただき、キャノンITSのEDI-Master製品の構築部隊にて初期構築を行い、その後、EDI-Master製品の構築部隊からグループのシステム構築ならびに・運用を担当しているグループIT事業部へのスキル委譲を行い、部門間で協力して、EDIシステムを再構築しました。無事本稼働を迎え、企業間取引では最重要となるEDIシステムでグループに貢献できたことを非常にうれしく思っています。



製品情報 Web サイト

EDI-Master シリーズ  
[https://www.canon-its.co.jp/products/edi\\_Master/](https://www.canon-its.co.jp/products/edi_Master/)



お気軽にお問い合わせください

[pkg\\_info@canon-its.co.jp](mailto:pkg_info@canon-its.co.jp)

Canon キャノン ITソリューションズ株式会社

本社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-6 キャノンSタワー  
ビジネスソリューション営業本部  
〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11 野村不動産天王洲ビル

Tel. 03-6701-3300

Tel. 03-6701-3456

© Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.  
 ・記載の製品名は弊社グループの商標、または登録商標です。  
 ・記載のコンテンツを無断で転載することを禁じます。  
 ・情報は制作時点のものであり、予告なしに変更することがございます。